

生涯学習支援事業報告

<p>事業の 名称</p>	<p>東北大学オープンカレッジ 「杜のまなびや」</p>	<p>事業代表者</p>	<p>田中 真理</p>
<p>目的</p>	<p>地域社会に対する貢献の一環として、オープンカレッジを通じた知的障害者への生涯学習支援を行う。</p> <p>知的障害のある者が学習を通して社会人としての生活や個人の生活が豊かになり、当事者同士の交流が促され友人関係が広がることのみならず、学内受講生および講師が自身の専門性を社会に向けて発信することの意義や「学び」の意味を再考する。</p>		
<p>対象者</p>	<p>知的障害者のある学外受講生 13名、東北大学在籍の学部生・大学院学生 12名</p>		
<p>内容</p>	<p>(1) 講義題目：わたしが生まれたとき 担当講師：加藤 道代 准教授 2010/10/23</p> <p>【講義内容】</p> <p>赤ちゃんだった頃の写真を素材として、自分の赤ちゃんの頃のことを話し合う。等身大の赤ちゃん人形を抱いてみるということを通して自分がどのように愛され、育ててもらってきたかを振り返る。</p> <p>【講義形式】</p> <p>出産前後における母親の言葉を講師が紹介した後、事前に一部の受講生から提供された赤ちゃん時代の写真をスクリーンに映した。その際、提供した受講生は、当時の呼び名とどんな赤ちゃんだったかについて発表した。発表後は、5名前後のグループに分かれて、自分の赤ちゃん時代についての話し合いを行った。休憩を挟んだ後、続いては、等身大の赤ちゃんの人形を実際に抱いてみるというワークを行った。そして、抱いてみての感想やあやし方についてグループごとに話し合いを行い、発表を行った。最後に、ある学習者の母親から事前に提供された出産後の言葉を講師が紹介し、「慈しむ」という言葉を取り上げて講義のまとめを行った。</p> <p>(2) 講義題目：教育を科学しよう 担当講師：谷口 和也 准教授 2010/11/20</p> <p>【講義内容】</p> <p>近年の中学校や高等学校での授業を体験しながら、学校や社会がどのように変わりつつあるのかということを感じる。そして、近年では正解を覚えるということではなく、お互いの</p>		

	<p>意見を尊重し、「合意形成」を行うことに重点が置かれていることを、アクティビティを通して理解する。</p> <p>【講義形式】</p> <p>まず、学校に通って「役に立ったこと」「つまらなかったこと」について、受講生同士でペアを作って話し合いを行った。その後、現在行われている授業内容を体験した。</p> <p>①絵描きゲーム(中学・国語)…描かれている絵を口頭だけでその絵を見ていないペア相手に伝え、同じように描いてもらう。</p> <p>②電流ゲーム(高校・道徳)…隣同士手をつないで横一列に並び、片方の手を握られた場合に、反対にいる隣の人の手を握り、最後の人までつなげていく。</p> <p>③違いの違い(中学・社会)…大学生と障害者で社会的に異なっていること(例、「大学生が電車に乗る時は1万円のお金を取られるが、障害者は半分しか取られない」など)について、その妥当性をそれぞれの立場から話し合う。</p> <p>最後に、講師が昔と現在との学校が「覚えて、競争する」から「1つの正解を出すだけでなく、意見を伝えあったり、考えたりする」ことを大事にするようになったということについて、「合意形成」というキーワードを用いながらまとめを行った。</p> <p>(3) 講義題目：自分の生きざまを語る／他人の生きざまを聞く3</p> <p>担当講師：石井山 竜平 准教授 2010/12/11</p> <p>【講義内容】</p> <p>立場や経験が異なる人々の相互理解を深めるため、希望した受講生が「受講生講師」となり、各自が「私」を主語として自身の考え方、感じ方を表現する。そして、自分が講義を行ったり、他者の講義を聞いたりすることを通して、受講生同士が互いの尊厳を大事にするという「共同学習」を行う。</p> <p>【講義形式】</p> <p>当日前に、受講生講師を集めてのミーティングを3回実施した。具体的には、受講生講師がスタッフとペアとなり、当日発表する内容についての検討やリハーサルを行った。当日では、はじめに講師が受講生講師の講義を聞く上での約束事を説明した。その後、オムニバス形式で7名の受講生講師が、自分の仕事のこと(3名)、自分の関心のあること(2名)、自分が大切にしていること(2名)をテーマにそれぞれ講義を行った(1人あたり10分程度)。そして、各受講生講師の講義の後には、受講生同士で感じたことを述べ合った。最後に、自分の生きざまを語る／他者の生きざまを聞くことについて、講師が「共同学習」というキーワードを用いてまとめを行った。</p>
<p>実施場所</p>	<p>東北大学文科系総合研究棟</p>

ス タ フ	川住 隆一 (東北大学大学院教育学研究科人間発達臨床科学講座教授)	人 数 11名
	加藤 道代 (東北大学大学院教育学研究科人間発達臨床科学講座准教授)	
	谷口 和也 (東北大学大学院教育学研究科教授学習科学講座准教授)	
	石井山竜平 (東北大学大学院教育学研究科成人継続教育論講座准教授)	
	滝吉美知香 (東北大学大学院教育学研究科教育研究支援者)	
	野崎 義和 (東北大学大学院教育学研究科博士後期課程)	
	横田 晋務 ()	
	佐藤健太郎 (東北大学大学院教育学研究科博士前期課程)	
	佐藤 真理 ()	
	飯田 明葉 ()	
古山 貴仁 (東北大学大学院教育情報学教育部博士前期課程)		
ス タ フ の 活 動 内 容	(1) 2010.4.9 スタッフの顔合わせ、これまでにおける取り組み・研究活動の振り返り	
	(2) 2010.4.23 「杜のまなびや」に関する先行研究の読み合わせと内容に関する討論 「杜のまなびや」における研究活動としての課題についての討論 ※勉強会として開催し、関心のある学生の参加を募集	
	(3) 2010.5.14 今年度の研究活動案の検討 講師の意識(障害観など)と当日の講義展開との関連性に焦点化することが決定	
	(4) 2010.5.28 「障害観」をキーワードに国内の先行研究を概観 「講師」、「障害観」をキーワードにオープン・カレッジ研究協議会「オープン・カレッジ研究」を概観	
	(5) 2010.6.18 文献講読、障害観に関する国外の先行研究を概観	
	(6) 2010.7.2 文献講読、過去の取り組みでの講義前後における講師への聴取に関する資料の整理	
	(7) 2010.7.9 講師への事前面接における聴取内容の検討	
	(8) 2010.7.13 講師への事前面接における聴取内容の決定	
	(9) 2010.7.30 文献講読、受講生の募集 (Fig.1)	
	(10) 2010.9.27 講師への事後面接における聴取内容の検討、受講生の決定	
	(11) 2010.10.21 講義第1回目の流れについての確認	
	(12) 2010.10.25 第1回目についての振り返り、講師への事後面接における聴取内容の決定	
	(13) 2010.11.15 講義第2回目の流れについての確認	
	(14) 2010.11.26 第2回目についての振り返り	
	(15) 2010.12.10 講義第3回目の流れについての確認	
	(16) 2011.1.14 第3回目についての振り返り、今年度の取り組み全体についての総括	
	(17) 2011.1.28 講師への面接結果全体についての検討	
	(18) 2010.2.3 講師への面接結果より講師の意識に関する研究データを抽出	
	(19) 2011.2.8 当日の映像記録より講師の講義展開に関する研究データを抽出、論文執筆案検討	
	(20) 2011.2.14 執筆原稿の検討・推敲	
*その他、受講生へのインタビュー、講師との講義に関する事前打ち合わせ、講師へのインタビューを複数回行っている		



「杜のまなびや」 ご案内

- 東北大学で、大学の先生の講義を聞いて学びましょう！
- 大学生・社会人・フリーター・障害のある人・ない人…、様々な人と一緒に学びましょう！

大学の先生の講義を聞くことや、みんなで話し合うことをします。
いろいろなことを学んでみたいという人は、ぜひお申し込みください。

■日時 **第1回 10月23日(土) 10:00~12:15**
(最初に開講式をします)

第2回 11月20日(土) 14:00~16:00

第3回 12月11日(日) 10:00~12:15
(最後に開講式をします)

■会場 東北大学 文科学系 総合研究棟
(パンフレットの後ろにある地図をみてください)

■定員 20名ほど (先着順です)

■持ち物 筆記用具 (えんぴつ、消しゴム)

■参加費 無料

■しめ切り

先生方と講義の紹介

第1回 10月23日(土) 加藤 道代 先生

「私が生まれたとき」
赤ちゃんの存在の大きさをパワーを感じてください。

第2回 11月20日(土) 谷口 和也 先生

「教育を科学しよう」
目新しく楽しい最近の学校での勉強を体験しながら、学校や社会がどのようにかわりつつあるのか、どんな風になれば学校は面白くなるのかを、みんなで考えましょう！

第3回 12月11日(土) 石井山 竜平 先生

「自分の生きざまを語る/他者の生きざまを聞く3」
同世代の様々な生きざまにふれながら、「自分」をとらえ返してみよう。

各国の内容(予定)

- 講義・・・先生の話を聞いたり、資料をみたりします。体を動かす活動をすることもあります。
- 話し合い・・・グループで話し合いをします。
- まとめ・・・話し合ったことやわかったことを書いたり、発表したりします。
- アンケート・・・簡単な質問に、答えていただきます。

会場までの地図とバス

●バス

1. 【乗車】元加谷駅より 加谷村営バス (加谷駅 西口 バス乗り場9番)
 - 【舞臺通・五年前経由 動物公園前乗り場] 行き
 - 【加谷大] 行き
 - 【加谷山] 行き
 - 【舞臺前] 行き
2. 【下車】「東北大学川内キャンパス・葵ホール副館」
3. 【徒歩】4分くらいで会場です。

問合せ・申込先

東北大学「杜のまなびや」事務局 (代表: 田中 真理)

問合せ担当 岩崎 真知 電話+fax 922-790-9149 mail: ro-mozaki@ms11.teisu.tohoku.ac.jp

住所: 〒980-8676 加谷村青葉区川内27-1 東北大学大学院教育学研究科 人間発達科学研究室

事務局員: 徳田美子さん

Fig.1 「杜のまなびや」パンフレット